参加者の声（抜粋）

・人生の最終段階の意思決定支援、ＡＣＰ※を看護師としてやってきました。障害のことが分からず、今までやってきたことが当てはまらないと、周りを見ながら日々辛く過ごしていましたが、何もかわらないと分かりました。何から手をつけていけばいいか分かりませんが、もう少し頑張ろうと思います。（※人生会議「アドバンス・ケア・プランニング（ＡＣＰ）」）

・事例を入れながら面白く話をすすめられ、とても楽しく講演がきけた。やまゆり園の事例などをつうじて本人の意思決定をどのようにしたか、もっと詳しくききたかったです‼

・「意思決定支援はふだんの支援である」講師のことばは至宝である。

・あきらめない、決めつけない、大切にしようと思いました。

・神奈川県での意思決定支援、大変参考になりました。自分の事業所でもそういう取り組み方が出来るようにしていきます。

・意思決定支援の真の部分が良く分かりました。

・寄り添うことは側に居るだけではない。思いをくみ取る、小さいことを積み重ねていくことで意思決定につながっていくことと思いました。

・とても大切なお話の連続で、大変勉強になりました。この研修に参加できて良かったです。合間で面白い笑いも交えて頂き、終始話に夢中でした。ありがとうございました。

・日頃の支援を思い返す良い機会になった。事業所全体で本当に意思決定支援をしているか話し合ってみます。

・支援者の思考の枠組となるアセスメントは計画を連動しているか、研修の留意点を今後しっかり利用者の意思決定支援となるようにしたいと思いました。

・いち支援者として従事している感覚でいたが、先生の「私たちに原因がある」や「私たちが作ってしまった社会」など、社会的な問題課題でも自分に少なからず責任があるという姿勢に反省させられました。

・保護者・家族の意向が主となっており、利用者さん本人の気持ちや考えを汲み取ることができるようになりたいと思いました。

・意思決定支援ガイドライン読み込み、実践、やっていきます。利用者さんの想いを聞いているつもりではありましたが、で何を基盤に…と言われ、はっ、としました。ありがとうございます。

・この度研修で学んだことを、早急に現場で活かしていきたいと思います。今日はありがとうございました。

・研修に参加して良かったです。現場で利用者の方と関わる一人として、声なき声に耳を傾けること、これからも大切にしていこうと思いました。

・今回の研修で、意思決定支援とは何か、また私自身支援者として何をすべきか、権利条約や総合支援法などの背景を踏まえて理解することができました。

・医療行為への同意について、何が正解なのか研修前からすごく気になっていましたが、本人の中にしか答えはなくベターにまではいきつくが、ベストにはならないという言葉を聞いて、すごく納得がいきました。意思決定について私は、ガイドラインがある事を知らずに仕事をしていて、先生の、何を基準にして支援をしているのかの問いかけに考えさせられ、すぐにガイドラインを調べてみました。日常生活場面での小さな意思決定がすごく大事であり、日々仕事をしていくなかで、利用者の方が意思決定できるよう、なげかけていきたいと思います。

・とてもわかりやすい講義で、途中、自分の中で何とも言えない感情がでてくることがありました。日々の仕事で意思決定支援ができる事が沢山あると思いました。ガイドラインを参考に実践できるようにしていきたいです。次回もまた参加したいです。

・先生のお話がとても分かりやすく、自分の事をふりかえることもできました。相手の心によりそえる者になるよう努めていきたいと改めて思いました。ありがとうございました。

・お話を聞きながら、普段私が支援しているメンバーはどう感じているか、私自身がどんな支援をしているか振り返ることができました。ありがとうございました。

・日々のアセスメントが大切だということ、また、そのために記録を残しておくこと。根拠のある意思決定支援…支援者の感じとる感性が必要だと感じました。ありがとうございました。

・意思決定支援の為の日常的な場面での小さな意思決定の積み重ねの為のケース記録が重要ということ、大変良く理解出来ました。現状の記録の書き方について考えなおすよう皆に伝わるよう努めたいと思います。参考となる研修に参加させていただきありがとうございます。

・意思決定の重要さと先生の熱意が伝わる講義でした。ご本人の中にある「思い」の表出方法…などあればお聞きしたかったです。（精神の方との関りが多いので、自己表出が少ないので）

・２時間半の研修でしたが、とても分かりやすい説明で、あっという間に時間が経過していました。今日の研修を職場内にも取り入れ、最先端で働く職員等と分かち合いたいと思います。「ご本人の思いへのアプローチ」とても良かったです。本当にありがとうございました。

・本人の意思決定支援の難しさは日々の業務の中で感じていたところだったので、非常に参考になりました。支援者が自分が行う支援に自信が無ければ利用者さんに不安を与えてしまうのでは？　という自身の不安から「これが利用者さんのためなんだ」とパターナリズムに成りかねない考えに成りやすい自分の性格は自覚していたところですが、そうならないためのヒントを今回たくさんいただきました。忙しいことを口実に利用者さんの言葉を最後まで聞けてなかったのでは？　日々の記録が意思決定支援の材料と成り得る記載になっているか？　基本となる業務の原点や目的を見失ってないか、反省を含め見直す機会となりました。ただ「本人の意思決定だから」と放任するのも違うと思うので、本人の決定によって予想されるメリットとデメリットの十分な説明、つまづいた際のセーフティーネットまで考えての意思決定支援だと考えました。また幼少期から親の保護の下、意思決定を他者に委ねてきた利用者さんには、意思決定を自分で行うことに慣れておらず、いざその場面でストレスに感じる方もいらっしゃるので、日常の中の小さな意思決定の場面の積み重ねが大事だなとも感じました。貴重な研修の機会をありがとうございました。

・鈴木先生の柔らかなユーモアのある語り口調の中にも、一本芯の通った覚悟のようなものを感じ、とても心に残る講義でした。早速、神奈川県の意思決定支援ガイドラインを熟読しようと思いました。

・話に夢中になり、あっという間の時間でした。自分の“想い”の再確認もでき、もっと多くの職員に聴いてもらいたい内容でした。

・心に響く言葉がたくさんありました。長く施設で過ごされている方の思いが気になり、すべきこと、できることがたくさんあることに気が付きました。ありがとうございました。

・話が上手く、納得することが多かったが、聞けば聞くほど難しくわからなくなってしまいました。

・本人に関わる全ての支援者等の参画が必須であること。チーム（多職種連携）による意思決定支援の重要性を考えていきたい。（本人中心で‼）

・熱心な御講義、大変勉強になりました。支援者として、基本でありかつ重要な「本人の意思決定支援」に取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。

・熱い御講義ありがとうございました。意思決定支援とは何か、今まで漠然としていましたが、明確になりました。利用者視点にたって支援していきたいと思います。

・意思決定支援の大切さを実感できた。